

鬼と鯛の頭と豆と節分



節分に魔除けとして使われている柗鯛は約 1,000 年以上も昔に、日本へ伝えられた風習です。『鬼は鯛の頭の匂いが嫌いで近寄ることができず、近寄ったら柗の葉の棘で目を突かれるのが嫌で逃げてゆく。』ということで昔から厄祓いとしての効果があると伝えられてきました。豆まきは中国から伝わった風習で、疫病などをもたらす悪い鬼を追い払う儀式であり 706 年に宮中で初めて行われたとの事です。日本では昔から穀物や果物には『邪気を祓う霊力』があると考えられ、豆の持つ力で邪気を祓い、1 年間の無事を祈り、幸福を呼ぶと考えられています。また、豆＝魔目といわれ魔除けに良いと信じられてきました。炒った豆を使うのは火を入れることによって豆が硬くなり、鬼にぶつけて退治するには都合が良く、また生の豆をまいて、その後拾い忘れた豆から芽がでては縁起が悪いからともされています。

鬼は夜やって来ますので、豆まきは夜おこなうのがベスト。

家族みんなで豆まきをして、1 年間の無病息災を願いましょう。

「鬼は外、福は内」！

